

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和3年度第1回松阪市文化センター運営委員会
2. 日時	令和3年7月28日(水) 午後7時00分から午後8時00分
3. 場所	松阪市産業振興センター 2階 人材育成講座室
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、松本 一生、 釜谷 恵子、柴田 実、牧田 研介 (◎委員長、○副委員長) 7名出席 (事務局) 堀口クラギ文化ホール館長・久保主査・上野係員・文化課 川村参事、山本主幹 5名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 堀口 英明 電話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 令和2年度及び令和3年度自主事業実績について
2. 令和4年度自主事業候補について
3. その他

議事録

別紙

令和3年度第1回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和3年7月28日(水) 19:00~20:00

場 所 松阪市産業振興センター 2階 人材育成講座室

出席者 【委員】梶 吉広、中西 幸男、森本 小百合、松本 一生、釜谷 恵子、
柴田 実、牧田研介

【事務局】クラギ文化ホール 堀口館長、久保主任、上野係員
文化課 川村参事、山本主幹

◎委員長、副委員長の選出

委員長 梶 吉広氏 副委員長 中西幸男氏に決定

◎議 題

1. 令和2年度自主事業実績、令和3年度自主事業について

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は実施事業は6事業(規模縮小1事業含む)、次年度に延期した事業は1事業、中止した事業は10事業であった。

令和3年度自主事業については、令和3年4月1日より1年間、クラギ文化ホールを新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用するため、令和3年11月より開館する農業屋コミュニティ文化センターと嬉野ふるさと会館のみでの事業となる。9事業を実施予定(内1事業は実施済)。

主な議論・意見内容

○ワンコインコンサート フルート 八木瑛子 事業は令和2年度時点では学生の指導会も行うという予定であったと思うが今回はどうするのか。

・現在の新型コロナウイルスの影響を考えると接触等の関係で実施方法が難しいこと、スケジュール確保の都合で開催時期を夏休みや春休み等、学生の参加しやすい時期にできなかったことから今回はコンサートのみとしたい。

○新型コロナウイルスの状況が今年度もあるが、基本的には事業を実施するという考えなのか。中止判断をどのように行うのか。

・現時点では新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ全て実施予定。現時点の基準では今年度行う事業は全て100%中止に関しては、新型コロナウイルスの状況、それに対する県や政府の基準が日々変化するため、具体的な基準を挙げるのは難しいが、一つのポイントとして、事業日に三重県に緊急事態宣言が出ている状況では基本的には中止と考えている。

2. 令和4年度自主事業候補について

令和4年度自主事業候補については、昨年は実施できなかった中・高齢者向けの事業や伝統芸能ジャンルのものを含んだ事業を挙げた。

主な議論・意見内容

○子ども向け事業について

◇昨年度はコロナウイルス下における子どもの文化機会が減少していることから子ども向け事業を中心に事業選定をしており、とても良いことであると感じた。

松阪市の特色として子ども向けの文化事業に力をいれていくということを今後も取り入れ、大事にしていくことがよいのではないか。

◇子ども向けに力を入れていくべきというのはありがたい意見だと思う。子ども向けの事業を毎年入れることで、演劇・音楽など様々なジャンルを子ども時代に体験していくことが大事だと思う。

◇子ども向け事業というものは過去にはあまりなかった。やはり子ども達にプロの文化事業を見せてあげることが大事であり、そういった子どもの頃からプロの行う演劇や音楽等の文化事業に触れられる環境を作ってあげたい。そういった点からすると、事務局側は色々努力をしてくださっていると思う。

◇子どもを育てるという視点で、方針を出すとういと思う。私はクラシックギターを指導しているが、9年ほど前から初めて子ども相手に取り組み始め、クラシックギターのような地味なものは難しいと思っていたが、中身がしっかりしていると続いていき、確実に定着しだしており、全国でも十分通用する子が何人も出始めている。そういったことも踏まえると先ほどの意見でも出た通り、環境を整え、文化事業に触れる機会を作ってあげることが子ども達にとって非常に大事なことであると思う。松阪の子ども達を育てているために、是非子どもを育てているという視点に立って事業を展開・継続していけるような形で進めていくのがよいと思う。

◇子ども向けの事業や地域の文化芸術団体との共催事業は非常に大事なことであると思う。趣味の発表会のようなことになってしまうと良くないが、意見にもあったギターのように、真摯に取り組んでいるところが、市と共催をしてくことは、市民文化芸術団体側にとっては自身だけでは実施が難しい大きな事業をしていくことができたり、市にとっては各市民文化芸術団体と共催で事業を開催することによって、独自でやるよりもノウハウを持っているところとやることで、お互いにプラスになると思う。松阪は例年継続して行っている文化芸術団体の事業がギターの他にいくつかあるので、事業展開の柱として非常にいいことだと思う。それに加えて、子ども向けの事業を今後注力して実施していくことでもうひとつ事業展開の柱を加えていくことできる。私共も県の事業として吹奏楽クリニックや三重音楽コンクール等を地元の各団体の方々と実行委員になってもらって展開しており、

お互いにプラスの影響が出ているので、松阪でもそういったことをもっと展開していくといいと思う。すでに芽はあるので広げていくのが良い。

- 自主事業の方針については、松阪市の総合計画というものがあり、その中で文化に限らず福祉や建設等いろいろな事業において方針をさだめている。その中の文化施策の一つとして未来を担う子供たちに沢山文化に触れ合う機会を提供するということが明文化されており、新型コロナウイルスの影響だけではなく、それに基づいて去年は子ども向け事業を中心とした選定をしたという経緯もあった。

今後もその方針は総合計画の見直しでも続いていくものと思われるので、以降の自主事業の方針についても、本日多数の意見が出た通り、子ども向けのもの一つの柱として考え、計画していきたい。

3. その他

- 現在農業屋コミュニティ文化センターの天井改修工事を行っているが、その工事の終了後、クラギ文化ホールのリニューアルを計画している。こちらについて、具体的なことが決まってくれば運営委員の皆様にも意見を求めたいと思うのでよろしくお願ひしたい。